



れつじょうばっさい 列状伐採とは

列状伐採は、能率的で安全な伐採方法の1つで、複層林施業や間伐に適しています。



もうきんるい 猛禽類とは

猛禽類とは、ワシ、タカとフクロウの仲間に分けられ、獲物を捕らえるために、その体を進化させた鳥の仲間をいいます。彼らは、狩りをするために、よく見える目と、鋭い爪とくちばし、そして強く丈夫な脚をもち、食物連鎖の頂点に立つ動物で、イヌワシ、クマタカ等がその例です。そして、その存在が森林生態系の豊かさを象徴しています。

食物連鎖のピラミッド

高次消費者

2～3次消費者を食べる動物



3次消費者

2次消費者を食べる動物



2次消費者

1次消費者を食べる動物



1次消費者

生産者の生み出す草や木の実を食べる動物



生産者

太陽エネルギーを使い水と二酸化炭素から有機物を生産することができる生物



死体・フン・落ち葉など

分解者

死体や落ち葉などを分解する土壌昆虫や菌類など

分解者・土壌昆虫・落ち葉など

東北森林管理局 計画課

〒010-8550 秋田市中通5丁目9-16
TEL 018-836-2204 FAX 018-836-2203
URL <http://www.touhoku-shinrin.com/>



もうきんるい
猛禽類の餌場の確保に配慮した

森林施業



東北森林管理局



森林の 空間づくりの イメージ図



林内は暗く、動植物の生息環境が
よくありません。



列状に伐採して、様々な動植物の
生息・生育を誘導します。



様々な動植物が生息・生育
し、猛禽類などの生息環境
が整います。

東北森林管理局管内の国有林には、個体数が減少しているイヌワシ、クマタカなどの猛禽類が生息しています。こうした猛禽類の増加を促すためには、森林を適度に疎開させ、多様な植生の繁茂を促し、これを餌とする野ウサギ等の小動物を増やす必要があります。また、猛禽類が餌を捕りやすい空間もできます。

このため、人工林を一定幅で列状に伐採し、広葉樹等の自然植生の導入を図り、猛禽類の生育環境に配慮した森林施業に取り組んでいます。また、このような列状伐採は緑の回廊の施業等に広く応用することができます。